

【リスペクト・フェアプレー委員会】
ユース審判パブリックコメント2025実施報告

2025年9月

JFA



概要

選手のサッカーを楽しむ権利を守る一環で、ユース審判というグループに対し、本人達の声聞き、する、見る、関わるだれもが、いつでも、どこでも、安心・安全にサッカーを楽しむ環境を作るための取り組みに反映することを目的に、ユース審判パブリックコメントを実施する。

- **対象** ユース審判（中学1年生～高校3年生）
- **期間** 2025年7月2日(水)～8月20日(水)
- **方法** webフォーム
- **発信** JFAの各種オウンドメディア（JFA.jp・SNS・メルマガ・KICKOFFメール）
- **補足** 調査は匿名で実施し、個人を特定はしない
調査の結果は、回答者が特定されない形でJFA公式サイト等に公表予定

- **回答数**:258件（うち有効回答数:256件）

質問内容

皆さん自身のことを教えてください

性別*

☐男性 ☐女性 ☐その他 ☐回答なし

学年*

☐中学1年生 ☐中学2年生 ☐中学3年生
☐高校1年生 ☐高校2年生 ☐高校3年生

住んでいる都道府県*

▼○○県（プルダウン選択）

サッカーとの関わり（複数選択可）*

☐選手 ☐審判 ☐マネージャー
☐指導者 ☐ファン・サポーター
☐その他（自由記述） ☐なし

所属チーム（複数選択可）*

☐部活動 ☐クラブチーム
☐スクール ☐その他（自由記述） ☐なし

審判の資格を持っていますか？

☐サッカー ☐フットサル ☐なし
☐4級 ☐3級 ☐2級

*は回答必須

皆さんのサッカーのことを教えてください

そう感じる理由を教えてください。

自由記述

「リスペクト」という言葉を知っていますか？

☐意味が分かる ☐聞いたことはある ☐知らない

「フェアプレー」という言葉を知っていますか？

☐意味が分かる ☐聞いたことはある ☐知らない

「セーフゲーディング」という言葉を知っていますか？

☐意味が分かる ☐聞いたことはある ☐知らない

日本サッカー協会の「暴力等根絶相談窓口」を知っていますか？

☐はい ☐いいえ

今、サッカーは楽しいですか？

☐とても楽しい ☐楽しい ☐普通
☐楽しくない ☐全く楽しくない

審判を始めたきっかけは何ですか？

☐チームで資格取得 ☐監督に勧められて ☐審判にあ
こがれて ☐サッカーにずっとかかわりたい ☐その他
() ☐自分がしたことはない

審判のやりがい、よろこび、やっていてよかったと思うとき
を教えてください？

自由記述

皆さんがサッカーの審判をしている場合は、いやな思いをしたり不
安を感じたりすることはありますか？

☐ある ☐ない ☐どちらとも言えない

そう考える理由を教えてください。

自由記述

皆さんがサッカーの審判をしている場で、いやな思いをしたり不
安を感じたりする原因になるのはどんなもの・ことだと思います
か？

自由記述

皆さんがサッカーの審判をしている場で、安心・安全にサッカー
を楽しめるようにするために、大事なことは何だと思いますか？

自由記述

皆さんがサッカーの審判をしている場で、安心・安全にサッカー
を楽しめるようにするために、“自分たち”ができることはあります
か？

☐ある ☐ない ☐どちらとも言えない

それは何ですか？

自由記述

皆さんがサッカーの審判をしている場で、安心・安全にサッカー
を楽しめるようにするために、“大人たち”ができることはあります
か？

☐ある ☐ない ☐どちらとも言えない

それは何ですか？

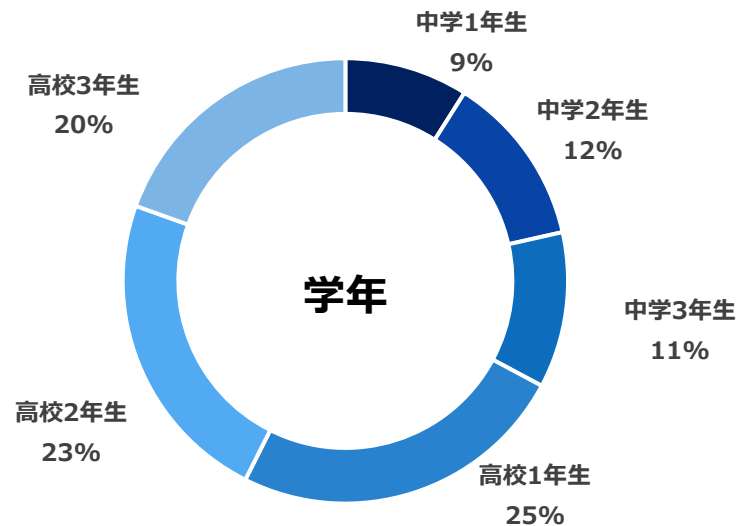
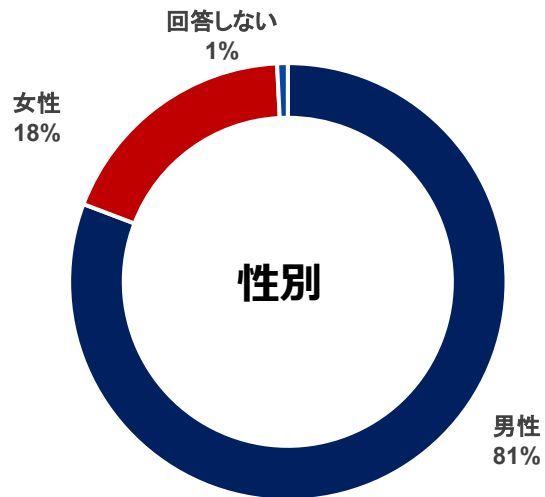
自由記述

その他意見があれば教えてください。

自由記述

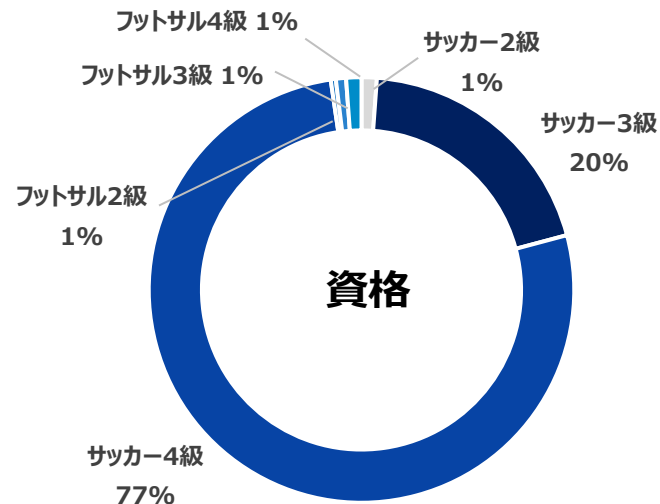
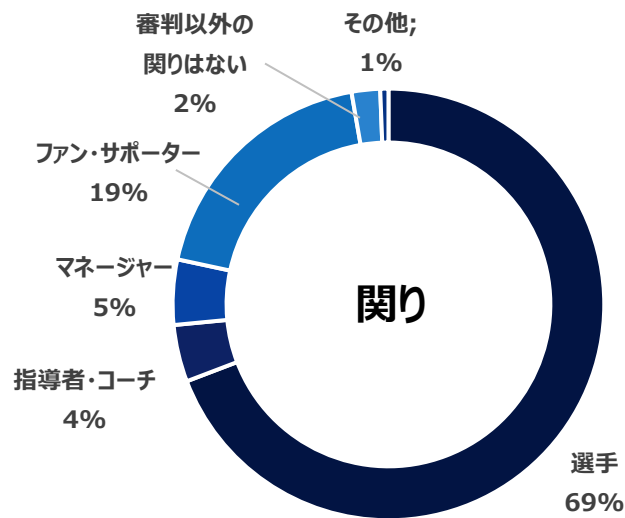
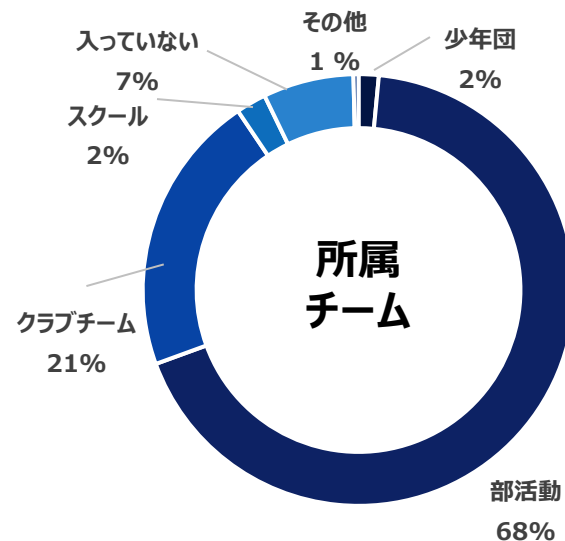
回答者

- ◆回答者の性別は男性が81%、女性が18%
- ◆年齢は高校生が67%を占めたものの、中学生の回答も30%あった。



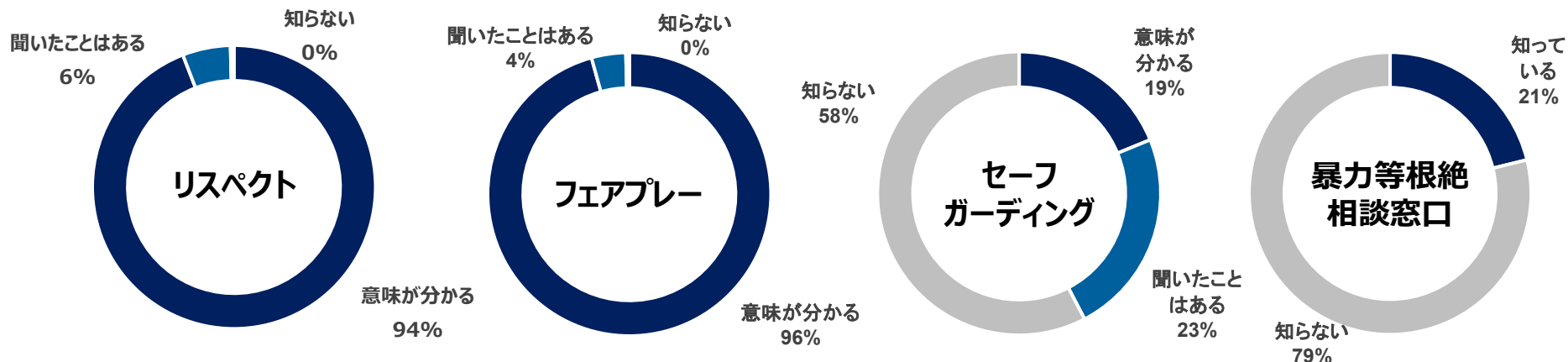
所属先・属性・資格

- ◆ 大多数が部活動やクラブチームの選手として活動进行しながら、ユース審判員として活躍。
- ◆ サッカー3級・4級を中心に資格を保有。



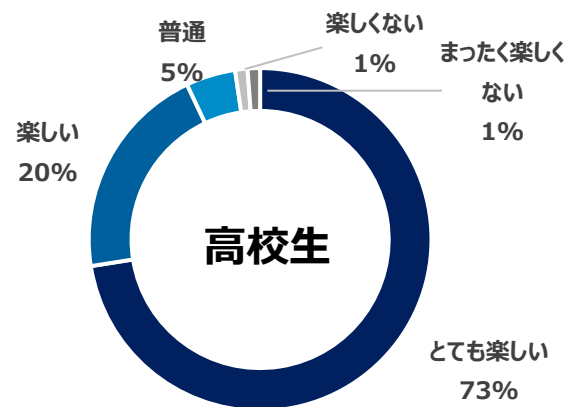
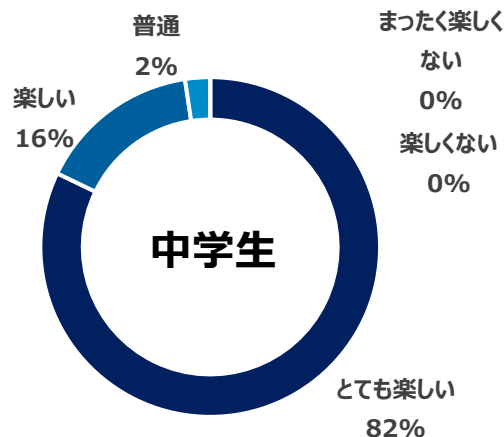
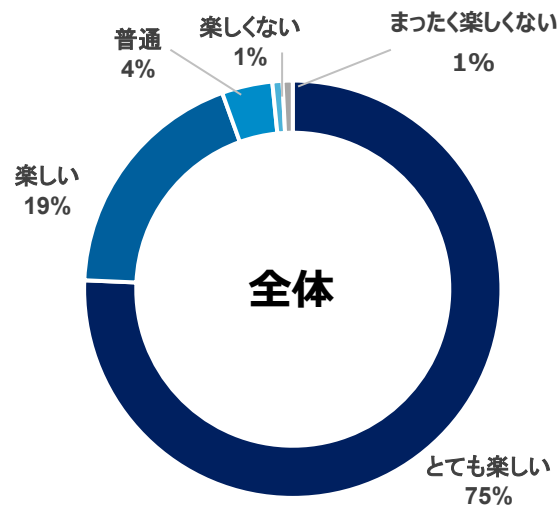
言葉・取り組みの認知度

- ◆「リスペクト」「フェアプレー」は一般的な用語であり、子どもへの認知度も高い。
- ◆一方、「セーフガーディング」「暴力等根絶相談窓口」の認知度は低く、子どもへの周知が課題。



今、サッカーは楽しいですか？

- ◆全体で90%以上が「とても楽しい」「楽しい」と回答、「楽しくない、全く楽しくない」と2%が回答。
- ◆中学生は楽しくない「全く楽しくない」と回答した中学生はいなかったものの、年齢が上がるにつれ「楽しい」の割合が減り、「楽しくない」の割合が増える傾向。



サッカーが「とても楽しい」「楽しい」理由

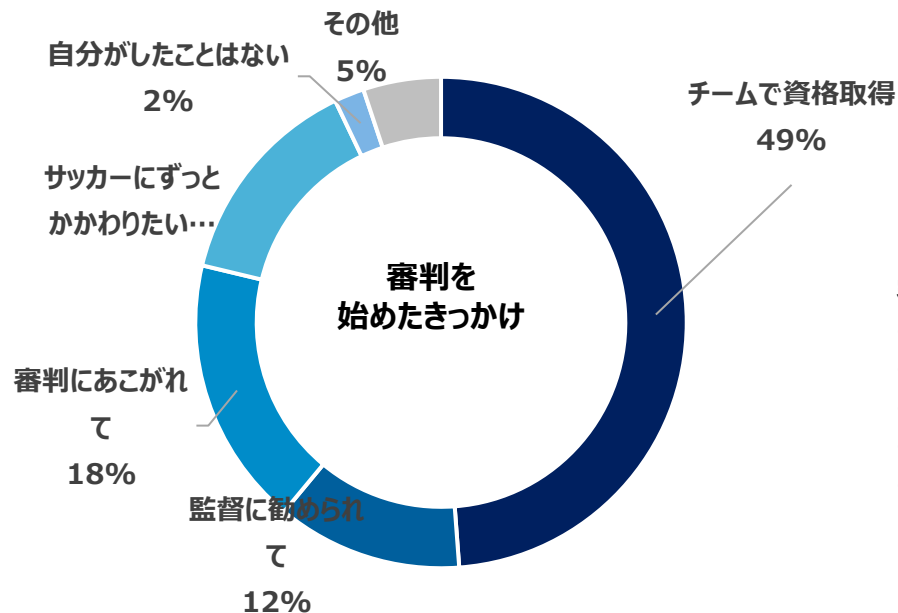
- 好きだから
- 成長できる
- 達成感がある（勝利、得点、いいプレー…）
- 仲間と協力、共に勝利を目指す
- たくさんの人とつながれる
- 自由度が高い、奥が深い
- 夢を負い続けられる
- チームに貢献できる
- 自分の生活と心を豊かにしてくれる 生きがい
- 試合で成功も失敗もたくさん経験でき、チームでどうやって勝利を目指して進むかさまざまなことを考えれるから。
- **自分を成長させてくれた大好きなサッカーにかかわれるということだけで喜びや楽しさを感じるから。**
- **選手としてだけでなく、審判としてサッカーに関わるのは今までにない視点でサッカーを見る目が変わったから**
- **選手が楽しそうにプレーしていただけるのをみれるから、1番良いポジションでゴールをみれるから**
- **日々選手達が懸命にサッカーに取り組んでチームスポーツとして頑張っている姿が見ていてとても美しい**

サッカーが「楽しくない」「まったく楽しくない」理由

- 指導者の問題
- チームの練習の質
- サッカーは楽しいが、チームのことで悩みがある
- 監督が練習にも来ないのに独断でメンバーを決めたり、最良があるため誰もが居心地が良いとは思えない。限界を迎える選手もいてチームとしての雰囲気最悪です。また、選手と同じようにふざけて遊びだしたりするのでどうしようもありません。本当に頑張って努力している選手が潰されてしまっているからです

審判を始めたきっかけは何ですか？

- ◆ チームで取得するほか、監督に進められて取得する場合は 60%以上を占める
- ◆ 審判にあこがれて取得するケースも多数。



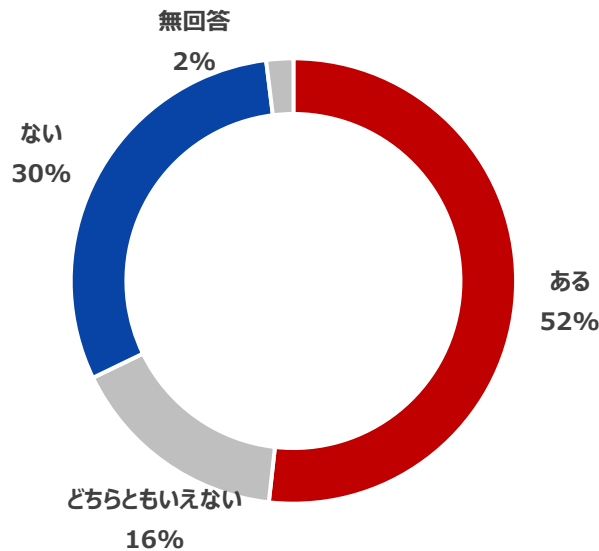
審判を始めたきっかけ その他

- ・ 選手として、ルールをしっかりと知りたい
- ・ 大きな怪我をしてサッカーが出来ない期間があったため
- ・ 身内、家族の影響
- ・ 所属チームのコーチや、後輩達に何か恩返しがしたいと考えたから
- ・ 違う視点で見てみたい

審判のやりがいや喜びは何ですか？

- ルールをよく理解することができた 試合に活かせる
 - サッカー理解が深まった
 - 相手の戦術などがわかり勉強になる
 - **審判の気持ちがわかった、審判への感謝の気持ちがわいた**
 - **サッカーを違う視点から見ることができる**
 - **素晴らしいプレーを間近で見ることができる**
 - **サッカーを支えることに関わることができる**
 - いろいろな人と関わり 新しい人とつながることができる
 - 誰もやりたがらないため、人のために役立ちたいと思った
 - サッカーはプレーするだけじゃない
 - **試合をつくる一員であること**
-
- ルールを基にサッカーを高めあえる
 - フェアプレーがおきたとき
 - 選手が楽しそうにプレーしている
 - 選手達のやり切った顔を見ると僕もこの試合の審判ができてよかったと達成感を味わうことができる
 - **選手と関わったり、選手が安心安全で、とりくめること、リスペクトある瞬間を、間近で見れること、グリーンカードを出す瞬間や、最後に今日の審判ありがとうございましたと言われることです。審判は楽しいです。**
-
- 選手やコーチから感謝を伝えられたとき
 - ジャッジを褒められたとき
 - 的確なジャッジや正しい対応ができたとき。
 - 無事に試合を成立させたとき
 - 的確なジャッジや正しい対応ができたとき。試合が何事もなくスムーズに進んだ時
 - 選手が楽しんでプレー出来るようにフォローし、やっている中でも成長を感じられる
 - 憧れの大きな舞台で笛を吹くことができる喜びと、選手の素晴らしいプレーをピッチレベルで感じられること
 - 一緒になった審判の人たちとのコミュニケーション
-
- 色々言われたとしても、最終的には感謝される。このリスペクトの心がやってよかったとも思わせるのかなと思います。
 - 判定が難しいことや上手くいかないことも多いですが、試合が終わった後に選手や監督の方々からありがとうございました、ナイスレフェリーでしたと言ってくれただけで、また頑張ろうと思えます。
-
- 対価として審判料をいただいたとき
-
- まだ経験がすくない
 - あまりやりがいを感じない。選手たちに色々言われてパニックになってしまう

皆さんがサッカーの審判をしている場合は、いやな思いをしたり不安を感じたりすることはありますか？



いやな思いや不安を感じることがない

- ・ 楽しいから
- ・ とてもやりがいを感じているから
- ・ 自分のレフェリングに自信がついてきたから
- ・ 大人がやさしく教えてくれる
- ・ 選手が審判にリスペクトを払ってくれることが多いから
- ・ みんなフェアプレーしているから
- ・ 常にポジティブ思考で考えているから
- ・ みんなが仲良くサッカーをしているところを、間近で見れるからです。僕はどちらかといえば、自分から審判がやりたくてやっています。僕は、小学6年生です。
- ・ 判定に対して罵声を浴びる事もありますがそれも一つのサッカーだと思っているし自分が納得して判定をしている以上自信を持たないといけなから
- ・ 異議や抗議などに対しては、覚悟をもって行ったり、それは改善点として受け止めたりしているから。しかし、判定によってゲームが崩れてしまったり、大きなことにつながったりしないようにと、少し緊張を感じることは、ありますが大きな不安ではなく乗り越えているから。
- ・ 審判が批判されるのは当然だから
- ・ 試合中に、最低限のフラストレーションを貯めてしまうのはしょうがない。それに対して、こんな態度が嫌だったから、自分が嫌な気持ちになったのではなく、自分にもベクトルを向けて考える必要があるから。
- ・ やってて良いと思った時と違う感じになる時も多々

皆さんがサッカーの審判をしている場合は、いやな思いをしたり不安を感じたりすることはありますか？

いやな思いや不安を感じることがある

自分への不安

- ・ 失敗することへの不安 ミスを恐れてしまう
- ・ 正確なジャッジができたのか、できるのか
- ・ 判断が合っているのか不安になる
- ・ 自分のジャッジで試合の結果が左右されるから
- ・ 自分が誤った判定をしていないのかなど試合中にわからない方がたくさんあるから
- ・ 失敗やミスをしたら試合が壊れる恐れがあるから
- ・ 誤審が怖い
- ・ 自分の準備が万全か不安になることがある。
- ・ 部活動の練習と審判活動が被り審判活動を優先した時に、自分の審判活動を理解してくれない部員がいるときがある もっとユースの審判活動が周りに理解される環境を作る必要があると思ったから。
- ・ 強制でやらされる

異議や暴言

- ・ 審判している時に、ずっと選手、控え、監督、コーチに文句を言われづづけられた。
- ・ すさまじい抗議を受ける
- ・ 選手から過度に批判されたり野次られたりすることがあるため。
- ・ 選手や応援の知識が追いついていないでいやな扱いを受ける時がある
- ・ 指導者さんからの審判に対しての言葉がひどい時があるから。
- ・ 選手から心無い暴言を言われたり、snsで晒されたり、脅迫とも取れるメッセージが届いたり大変なことがたくさんあるからです。
- ・ 試合中、抗議が暴言に変わることが多々見られ、不安を感じる。また、ファールをした側があからさまなファールを認めずに逆上する時など、落ち着かせる方法が分からない。
- ・ 誤審がないように心がけるが、やはりピッチ内の選手から暴言を吐かれると気分が悪いですし貶された気分になるからです
- ・ 選手でルールを理解していない人が多いこと。

皆さんがサッカーの審判をしている場合は、いやな思いをしたり不安を感じたりすることはありますか？

いやな思いや不安を感じることがある

- やはり、これは審判員全員が受けることだとは思いますが、「**執拗な異議**」というのは**耐え難い**ものです。個人的な考えですが、「**若いというだけで舐められる、下にみられる**」という風潮は少なからずあると思います。もしかすると、大人の人より技術がないかもしれないし、経験も浅い。でも、それは当然のことだと思います。その中でもユース審判たちは、部活動や自主トレーニングなどで、選手のために日々研鑽を積んでいるし、それに加えて競技規則の勉強にも熱心に取り組んでいます。適当な気持ちで試合に臨んでいるユース審判などいないと思います。そういうことをしっかりと理解してほしいです。
- まだまだ女性審判が少ないということも念頭にはあると思いますし、慣れが大事なのかもしれませんが、誰が見ても分かるような判定に関して私に詰め寄ってきたり、威圧的な態度を取られたり、男性審判の時は絶対言わないだろうというような事も私たち**女性審判には言ってもいい**と思っているのか知りませんが、自分自身のレゾンデートルまで傷つけられるようで本当に嫌です。
- 過去に友達と審判やった時に、その子にめちゃくちゃ暴言などを吐かれて、その子は資格を持っていたのにそれが**トラウマ**になり二度と審判をやらなくなってしまった。僕も同じことがいつか言われるんじゃないかと怯えている。
- 自分が出ていない練習で試合で審判をする時、子供だから、文句を言われたり、ジャッジした内容に不満をぶつけられる事が度々あるから。
- 社会人とかもう喧嘩しにきてる人たちとかいるから今一度協会が各チームに一言言った方が良いと感じた。

安心・安全にサッカーを楽しめるようにするために、大事なことは何だと思いますか？

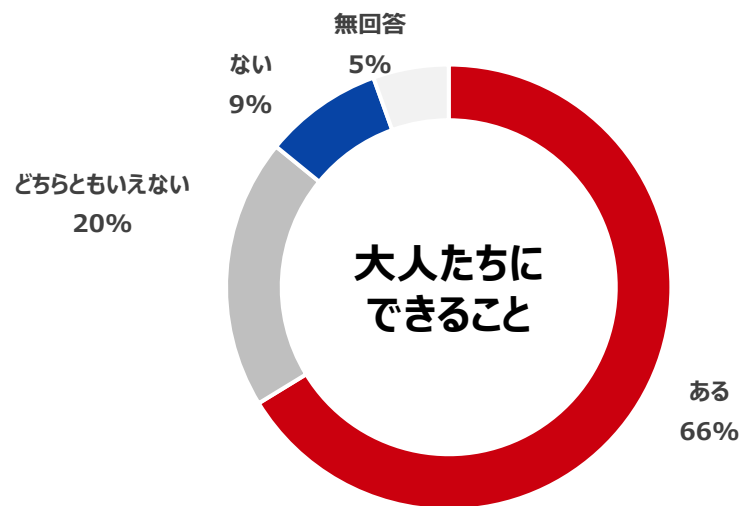
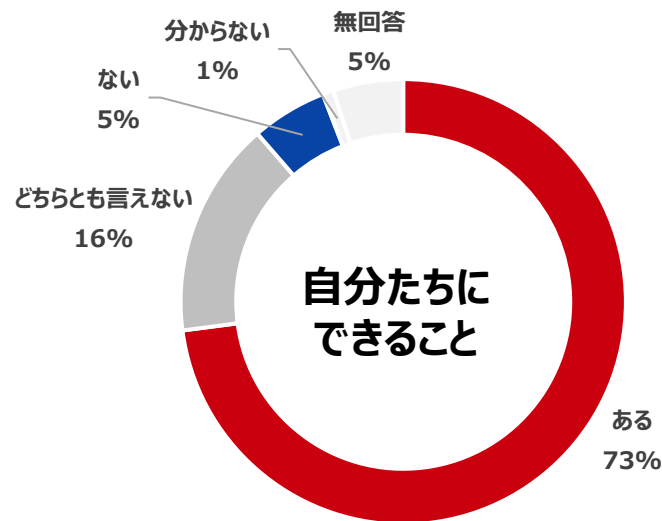
- リスペクト、フェアプレー
- スポーツマンシップ
- **理解し合う**
- **安全を第一**に考える
- まず意義・抗議に対して、すぐにイエローカードとかではなく、第一に選手の安全を意識し、それを脅かす行為に対してのイエローカードなどの判定を優先する。その意義に対しては取り入れたり、コミュニケーションをとったりすることが大切だと思う。また、選手としても行っているため、選手の気持ちに合わせた判定も大切だと考える。
- 審判の質をあげる 公平なレフェリングをする
- 自信をもって審判に取り組み、両チームにリスペクトすること
- **選手、チーム役員、運営役員全員のルール理解**
- 相手をリスペクトする気持ち サッカーは、仲間がいないとできないスポーツだから
- どちらのチームも利益を受けられるように危ないこと、攻撃的なことはダメ、としっかり選手の身体を守ったら、実力を発揮できるような試合を作っていくこと
- 審判団だけでなく、**選手ともしっかりコミュニケーション**をとる。しっかりとした判断をする事で安心・安全にサッカーを楽しめるように思う
- 審判もしっかり見なくては行けないが、判定に文句を言わない
- 選手にしても審判にしても**大人がよい見本**を見せる
- 審判のジャッジに暴言をしない
- **監督などの発言に対してもう少し厳しい対応をしてもいいと思う。具体的なルールを決めたりする。**
- 審判も選手のように厳然な評価がされるようになること。
- 水分補給
- 競技場の状況
- **選手・監督・チーム関係者からのリスペクト そして世間からのリスペクト・理解**
- 選手は審判の判定を尊重して、審判は権力を振りかざさないこと
- **守ってくれる大人の存在が必須**だと思います。リスペクトは忘れないのは当たり前だし、審判がいるからサッカーが成り立つことをもう一度プレーヤーたちは再確認するべき
- ピッチ上で選手に1番近いのは、審判だから ピッチ上のマネジメントは審判が、プレーの ジャッジだけでなく選手達に対するマネジメント、見る、そして、細かくコミュニケーションを取ることが、信頼され、安全に、ゲームを運ぶことが出来ると思う。

安心・安全にサッカーを楽しめるようにするために、大事なことは何だと思いますか？

- 守ってくれる大人の存在。インストラクター（アセッサー）、マッチコミッショナー、ウェルフェアオフィサーなどなど。ユース審判員は、そんな大人の皆さんをととても心強く感じています。
- まず、選手同士が、リスペクトを持ってプレーすることが大切です。そして、僕は、最初のセレモニーで、選手、審判が、握手することがすごく良いとおもいます。
- やはりお互いがそれぞれにリスペクトの心を持って、常日頃から過ごしていく事なのだと思います。普段から自分の考え方とか、人への接し方を振り返ったりサッカーだけではない人として大事なことで、気づき、サッカーができる事は当たり前の事ではないので、感謝の心を忘れずにサッカーする事だと思います。
- 選手や保護者にも審判のようにルール講習会を定期的に行い、ルールをしっかりと理解してもらう。
- 審判の地位をサッカー界全体で上げられるようにする

皆さんがサッカーの審判をしている場で、安心・安全にサッカーを楽しめるようにするために、できることはありますか？

- ◆73%の子どもたちが「自分たち」にできることがあると回答。
- ◆66%の子どもたちが「大人たち」にできることがあると回答。



安心・安全にサッカーを楽しめるようにするために、できること

自分たちができること

- やりたいプレーがより安全に、気分よく行えるように、マネジメントする。
- 安全管理するためのコントロール 危険なプレー、怪我人対応、暑熱等
- 互いをリスペクト
- 審判も対戦相手も**サッカーが好きな仲間だ**という心を常に持つこと
- サッカーは、すばらしい、スポーツなので、まずは、みんながリスペクトを持ってプレー するように呼びかけます。
- **選手たちが主役**だということは常に心に留めておくべき
- 正しい審判をする フェアに裁く
- 選手－審判間や審判同士のコミュニケーション
- 審判員が選手に寄り添って話を聞く、笑顔で接する
- **純粋にサッカーのプレーで競う**
- 選手、観客に常に目を配らせ明るく接してフェアなゲームにしていく
- 周囲に潜む危険を誰よりも早く察知し、正確に予測を立てること。
- **自分たちももっと勉強をしていく、経験を積む**
- 「**競技規則**」の徹底的な理解だと思っています。私たちが自分からできることは、自分の守りを強化することだけだと思っています。「競技規則」という力強い味方をしっかりと自分に落とし込んで定着させる、それが唯一の自分たちのできることだと思います。
- **公式戦試合前に選手やレフェリー、指導者や観戦者にリスペクトみたいなのを書いた横断幕的なもので写真を撮ったり、その横断幕を会場周辺に掲げる。**
- ルールを誤解しているチームメイトや選手がいた時にしっかり教えたり、手本としての審判員として行動を正したり自分の行動で見せること
- その時その時の状況に合わせたコモンセンスを持って試合をレフェリングする事。全ての人に対してリスペクトの心を忘れない事だと思っています。

大人ができること

- ・ 審判のジャッジに反論しない、審判を尊重する
- ・ 危険なプレーをさせない。自分のチームのコーチがしっかり指導する。
- ・ 選手たちに審判の役割や審判との関わり方を指導する。
- ・ 指示ばかりせずに選手を見守る
- ・ 厳しさを履き違えている監督やコーチは多いと思います。
- ・ 競技規則を正しく理解する
- ・ 子どもたちの手本となる行動をとる
- ・ 頑張っている選手に文句や不満を言わない。
- ・ 野次、心無い言葉を改める
- ・ 指導者が大きな声やジェスチャーで異議を言うのは子供がそれを見た場合「やっていいんだ」という感覚が備わってしまうため、特に低年代の指導者は言動に責任を持ってほしい
- ・ 子供が審判をしても馬鹿にしないでほしい
- ・ 間違いは指摘して、良いところは誉めること。その少しの気遣いで審判をやっている自分からすると安心するし心の支えになります。
- ・ 声掛け、サポート体制です。「失敗してもいいよ、自分たちが守るから」（失敗を全肯定するというわけではありませんが）という言葉をかけていただくだけでも、ユース審判員の心の持ちようは全然違ってくと思います。ユース審判員が委縮することなく、のびのびと審判員活動ができる場所を構築してほしいです。
- ・ 怪我等があった場合の正しい対応
- ・ 会場、環境の**安全管理** 暑熱含む
- ・ 学習機会の提供、ユース審判員の普及活動やセミナーなど、もう少しオープンに分かりやすく開催する。

最後に、感想や意見があれば教えてください（自由に書いてください）

- ・ 僕はどちらかと言うと審判をするのが好きでいろいろな試合で積極的に審判をしてました。これからも続けたいです
- ・ サポートを受けながら将来国際審判を目指して頑張りたい
- ・ すごく楽しいので、3級を目指して頑張りたい。
- ・ 多くの人に審判という役割も理解してもらい、より良い試合をみんなで作ってあげていければ良いと感じました。
- ・ サッカーが大好きです。もっと、沢山の方にサッカーを広めたいし、応援されるプレーヤーになりたい。
- ・ 審判は苦しいこともあるけど楽しいことがたくさんあります。是非経験してみてください。
- ・ サッカーチームに所属している子ども向けの審判体験などを開催すれば、審判に興味をもつ子供が今よりは増えるのではないかな ユース審判の活動を広めてほしい
- ・ 監督や選手、観客からの、カードが出せない程度の批判などが減ってくると、辛くてやめてしまうといった審判の方が減るのかなと思います。杞憂かもしれませんが、PRの方でさえ過剰に批判されているように感じます。なので、もう少し審判を守ってほしいなと思ってしまいます。でも昔のように、審判と選手は関わるものでない、従わせるべきといった形に戻すこともおかしいように思います。とても難しいことですが、ご対応頂けると嬉しいです。
- ・ 試合をするためには審判が必要なので、ちゃんと審判をリスペクトする。
- ・ 選手が「マイボール」とか「ハンド」とか言わないように指導者はちゃんと指導すべき。サッカーはファールのジャッジが曖昧で、バレなければファールしても良いような指導をしている。また、審判を欺いたり、遅延行為を教えている指導者も多い。
- ・ 周りの大人（監督、コーチ）の言動で、審判員として上を目指すことをあきらめてしまうユース審判員はごまんと存在します。そんな残念な人たちを増やさないためにも言動には十分注意してほしいです。何気ない一言、相手の気持ちを考えないでまかせな一言、感情的なその一言が、ユース審判員を減らし、ひいては日本サッカーの衰退に貢献してしまっているということを強く自覚してほしいとおもいます

最後に、感想や意見があれば教えてください（自由に書いてください）

- 僕は、小学校6年生の時に審判員資格を取得し、4年間レフェリー活動を通して、たくさんの方々にお会いし、交流することが出来ました。そもそも、取得しようとしたのは、所属していた少年団で、審判員として所属されていた方の存在が大きかったです。その方が、病で亡くなってしまった際に、同期のレフェリーと、「あの方の意志を継いでレフェリー活動をしていくこと」を心に決めました。**レフェリー それは、選手をリスペクトし、選手からリスペクトされるべき存在であると実感しております！**
- 選手を引退して第二のサッカー人生を審判員として貢献していきたいと考えています。選手と審判、立場は違うけど同じサッカーの試合をつくる者同士、リスペクトを忘れず選手としての経験を生かしていい審判員になれるように頑張ります。
- もっと日本のサッカーのレベルアップのためにユース審判員の育成に力を入れて研修会などの機会を設けてほしいです。
- 全てがAIの審判になることがあったら、悲しいです。全てがAIになると、ゲームみたいになって、サッカーの楽しさがなくなってしまうと思います。
- **楽しくサッカーをやりたくて、サッカーが大好きで、審判の資格をとりました。**不満を言われたりすると、すごく悲しいし、自信をなくします。リスペクトの心を忘れずにいてほしい。これからも選手として、審判として、レベルアップできるようになりたいです。
- サッカー含め、スポーツは怪我が付き物だが、その怪我をいかに減らせるか、軽減させることが出来るかは、審判団の出来る最大限のことだと思う。そのためにも、ピッチ上で選手に1番近いので、一人一人に寄り添いながら、威厳だけでなく、関わりやすいレフリーになりたいし なっていく必要があると思う。
- このように自分自身の率直な思いを直接伝えることができる機会は本当に限られているので、貴重な機会をありがとうございます。まだまだ審判として未熟な私ですが、これからもサッカーがより色々な人にとって心の拠り所であるような活動をしていきたいと思っています。拙い文章でしたが、読んでいただいてありがとうございました。

Thank you.